

NPO 法人 富士市のごみを考える会

令和 6 年度 第 21 回定期総会

議 案

日 時:令和 6 年 6 月 29 日(土)9 時 10 分～

場 所:ふじさんエコトピア ボランティア室



令和 6 年度 NPO 法人富士市のごみを考える会 総会次第

日時 令和 6 年 6 月 29 日(土) 9 時 10 分～

会場 ふじさんエコトピア ボランティア室

1. 開会・議長選出

2. 議事

- 1). 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告について
- 2). 第 2 号議案 令和 5 年度決算報告及び監査報告について
- 3). 第 3 号議案 令和 6 年度役員について
- 4). 第 4 号議案 令和 6 年度事業計画(案)について
- 5). 第 5 号議案 令和 6 年度活動予算書(案)について

議長解任・閉会

第 1 号議案

特定非営利活動法人 富士市のごみを考える会 令和 5 年度事業報告書 (令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

活動総括 コロナ禍も明け、様々な行事が帰ってきました。エコトピアでのイベントも増えました。

事業報告

1. ごみの排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、及び、研究・学習

< 先進地域への見学・学習会、他団体との交流 >

日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
12/4	廃棄物資源循環学会環境学習研究部会視察 「エコルとごし」「容器包装ミュージアム」	1	30	廃棄物資源循環学会環境学習研究部会秋の視察に参加

2. ごみの排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動

< 環境教育、その他の普及啓発活動 >

日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
月 1 回	定例理事会及び臨時理事会	4～7		ふじさんエコトピアにて
6/11	ボーイスカウト富士地区ビーバー隊 富士市環境アドバイザーとして、環境学習	6	70	ふじさんエコトピアにて
6/24	NPO 法人富士市のごみを考える会 第 20 回総会	15	15	ふじさんエコトピアにて
6/24	「もったいない音楽会」を ふじさんエコトピアにて開催	15	50	ふじさんエコトピアにて
5/10～ 10/25	凧づくりボランティア養成講座 (12 回連続講座)	5	延べ 20	佐野久雄氏講師に
7/29	富士山ゼロメートル田子の浦海岸清掃	7	50	ふじさんエコトピアとの協働事業 + ボランティアスタッフ
月刊浄化槽 7 月号	「プラスチックごみの排出量と削減対策」掲載	2	全国	小川理事長と小野事務長の 共著
9/26	水環境保全勉強会で小川理事長講演	7	100	富士宮市立西富士中学校
10/16	Learning by Giving プロジェクトへ のご協力	1	61	富士市立富士川第二中学校 社会科 9 年生
10/22	ふじさんエコトピアのお祭り 2023 エコフェスタ「生ごみ資源化講座」	4	20	フェスタ全体参加者 800 名
10/22	ふじさんエコトピアのお祭り 2023 エコフェスタ「凧づくり」	5	20	
10/29	流木タペストリー作り	5	16 組	30 名以上
11/11～ 12/23	端切れを使ったぶきょうさんのお裁縫講座 あいいうえお始まる	5	延べ 60	エコトピアとの共催事業で スタート、片山葉子講師
12/16	駿河凧づくり教室	4	60	元吉原まちづくり協議会依頼 環境アドバイザー事業
11/22～ 313	駿河凧作り講座月に一回ずつ	3	10	4 回開催
1/29	元吉原凧揚げ大会に来賓で参加	6	100	元吉原小学校グラウンド

3. ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動

<ごみの分別指導>

日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
随時	トングを使ってごみ拾い、 富士市やそれぞれの地域をきれいにしよう	9名 他	多数	それぞれの地域で、 気が付いた時に実践

<審議会、プロジェクト等への参加>

日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
随時	環境省	1名		小川 浩
年2回	廃棄物減量化等推進審議会(第8期)	1名	30名	長谷川 亜紀
随時	ふじさんネットワーク理事会	1名	20名	小野 由美子

<その他の実践活動>

日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
6/25	NPO 法人富士市のごみを考える会総会	18	18	総会のみ

<会として他団体への参加>

環境省、静岡県、富士市、ふじさんネットワーク、ふじさんエコトピア、廃棄物資源循環学会、月刊廃棄物
富士市地球温暖化防止活動地域協議会、富士市環境アドバイザー

令和5年度 活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	26,000	26,000	0	13×2,000円
2. 事業収入	100,000	92,900	-7,100	環境学習、日本環境センター、他
3. 補助金・助成金収入	30,000	50,000	20,000	ふじさんネットワーク、エコトピア
4. 寄付金収入	5,000	14,100	9,100	募金、個人寄付
5. 雑収入	20,000	1,504	-18,496	預金利息他
当年度収入合計(A)	181,000	184,504	3,504	
前年度繰越収支差額	543,040	543,040	0	
収入合計(B)	724,040	727,544	3,504	
II 支出の部				
1. 事業費				
① 排出抑制、適正処理に関する 研究と学習	1,000	0	-1,000	勉強会、講師料
② 先進団体等見学	20,000	25,080	5,080	リサイクル工場下見、打合せ
③ 活動普及啓発	50,000	104,882	54,882	環境学習講座、授業等
④ 実践活動	0	0	0	
<事業費合計>	71,000	129,962	58,962	
2. 管理費				
① 会議費	40,000	12,000	-28,000	総会
② 旅費交通費	5,000	0	-5,000	
③ 通信費	3,000	1,426	-1,574	総会資料・会報送料
④ 器具備品費	3,000	0	-3,000	
⑤ 消耗品費	3,000	0	-3,000	
⑥ 印刷費	3,000	5,465	2,465	会報、講座チラシ印刷
⑦ 支払手数料	1,000	812	-188	銀行振込手数料
⑧ 交際費	0	0	0	
⑨ 図書費	0	34,570	34,570	『月刊浄化槽』、『月刊廃棄物』年間購読料
⑩ 事務費	0	161	161	文房具代
⑪ 公租公課	0	0	0	
⑫ 雑費	3,000	2,000	-1,000	
⑬ 人件費	20,000	20,000	0	会計手当て
<管理費合計>	81,000	76,434	-4,566	
3. 予備費				
	0	0	0	
当年度支出合計(C)	152,000	206,396	54,396	
当年度収支差額(A)-(C)	29,000	-21,892	-50,892	
次年度繰越収支差額(B)-(C)	572,040	521,148	-50,892	
支出合計	724,040	727,544	3,504	

《特記》銀行の預金残高は551,148円となっているが、30,000円の立替を引き落としていないため、次年度繰越収支差額は521,148円となる。

特定非営利活動法人 富士市のごみを考える会
令和5年度貸借対照表

令和6年3月31日

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金 手元有高	0	
普通預金		
静岡銀行広見支店 NO:0400007	520,148	
富士宮信用金庫本店 NO:1140904	1,000	
流動資産合計		521,148
2 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		521,148
II 負債の部		
1 流動負債の部		
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
正味財産		521,148
負債および正味財産合計		521,148

特定非営利活動法人 富士市のごみを考える会
令和5年度 財産目録

令和6年3月31日

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金 手元有高	0	
普通預金		
静岡銀行広見支店 NO:0400007	520,148	
富士宮信用金庫本店 NO:1140904	1,000	
流動資産合計		521,148
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		521,148
II 負債の部		
1 流動負債の部		
流動負債合計	0	0
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		0
III 正味財産の部		521,148
正味財産		
負債および正味財産合計		521,148

令和5年度活動決算書を報告いたします。

令和6年3月31日

理事長 小川 浩

会計 石川多津子

会計監査報告

令和5年度NPO法人富士市のごみを考える会の活動計算書並びに関係帳簿類を監査したところ、正確に記帳されており、領収書等も適正に処理されていることを報告します。

令和6年4月28日

監事 小野 房雄

監事 梅原 万奈

令和6年度役員

(敬称略)

	氏名	住所または居所
理事長	小川 浩	埼玉県上尾市今泉 25 の 5
事務長	小野 由美子	富士市大淵 27 番地の 6
理事	平田 淳子	富士市大淵 95 番地の 76
理事	石川 多津子	富士市一色 178 番地の 6
理事	佐野 勝美	富士市川成新町 95
理事	時田 祐佐	富士市中丸 794
理事	熊谷 良子	富士市大淵 99 番地の 27
理事	長谷川 亜紀	富士市今泉 3802-10
監事	小野 房雄	富士市大淵 27 番地の 6
監事	梅原 万奈	富士市今泉 3865-1

第4号議案

令和6年度事業計画(案) (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

I. 活動方針

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1) 3R活動・ごみ減量・食品ロス削減の方法、水質保全、地下水を守る生活の普及を進める。 2) ごみ減量3R活動の普及啓発に係わるイベントの企画運営を行い、他団体とも協力する。 3) 富士市環境アドバイザーとして環境教育を進める。 4) 環境問題を通して、子どもたちの健全育成に関わっていく 5) みなし浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進し、水環境に配慮したまちづくりを目指す |
|--|

II. 活動内容

1) 環境教育実施施設「リサイクルプラザ」の研究と学習	できれば実施
2) ごみの排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習	
① 夏休み親子リサイクル探検ツアー～資源ごみのゆくえを探れ～ 富士市市民協働事業提案制度採択事業として実施予定	8月7日
3) ごみの排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動	
① まとめの研修「リサイクル最終工程学びの森を探検しよう！」 リサイクルの最終工程をリサイクルキットを使って説明する。	8月10日
② 学校環境教育事業、地域環境教育事業への協力 「ごみ減量・適正分別講座」(地域・小学校・まちづくりセンター) 市民のごみ減量・適正排出への意識高揚のための説明会支援	依頼時実施
③ ごみの会通信(会報)発行	年2回
④ 外部団体主催の事業への参画・協力	依頼時実施
4) ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動	
① 各種審議会への参画	随時
② 生ごみ資源化講座	エコフェスタ他
<会として他団体への参画>	
① 環境省	小川 浩
② ふじさんネットワーク理事会	小野 由美子
③ 廃棄物減量化等推進審議会	長谷川亜希
<他団体との協力>	
環境省、静岡県、富士市、ふじさんネットワーク、廃棄物資源循環学会、ふじさんエコトピア 富士市環境アドバイザー、富士市地球温暖化防止活動地域協議会、月刊廃棄物、月刊浄化槽 日本環境教育センター	

令和6年度活動予算書(案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(単位 円)

科 目	前年度予算額	前年度決算額	今年度予算額	備 考
I 収入の部				
1 会費収入	26,000	26,000	26,000	13×2,000円
2 事業収入	100,000	92,900	300,000	富士市市民協働事業提案制度採択事業他
3 補助金・助成金収入	30,000	50,000	50,000	ふじさんネットワーク他
4 寄付金収入	5,000	14,100	10,000	募金、個人寄付 等
5 雑収入	20,000	1,504	3,000	預金利息、講座参加費等
当年度収入合計(A)	181,000	184,504	389,000	
前年度繰越収支差額	543,040	543,040	521,148	
収入合計(B)	724,040	727,544	910,148	
II 支出の部				
1. 事業費				
① 環境教育実施施設の研究と学習 排出抑制、適正処理に関する	1,000	0	230,000	勉強会、講師料
② 先進団体等見学	20,000	25,080	20,000	リサイクル工場下見等
③ 普及啓発活動	50,000	104,882	30,000	環境学習講座、授業等
④ 実践活動	0	0	3,000	
<事業費合計>	71,000	129,962	283,000	
2. 管理費				
① 会議費	40,000	12,000	12,000	総会
② 旅費交通費	5,000	0	1,000	団体見学、NPO報告
③ 通信費	3,000	1,426	1,500	会報送料他
④ 器具備品費	3,000	0	1,000	
⑤ 消耗品費	3,000	0	1,000	
⑥ 印刷費	3,000	5,465	5,000	会報、講座チラシ印刷
⑦ 支払手数料	1,000	812	1,000	銀行振込手数料他
⑧ 交際費	0	0	1,000	
⑨ 図書費	0	34,570	24,000	月刊廃棄物購読料
⑩ 事務費	0	161	1,000	文房具、用紙代他
⑪ 公租公課	0	0	500	印紙代
⑫ 雑費	3,000	2,000	2,000	他団体年会費等
⑬ 人件費	20,000	20,000	40,000	会計及び事務長手当て
<管理費合計>	81,000	76,434	91,000	
3. 予備費				
	0	0	0	
当年度支出合計(C)	152,000	206,396	374,000	
当年度収支差額(A)-(C)	29,000	-21,892	15,000	
次年度繰越収支差額(B)-(C)	572,040	521,148	536,148	
支出合計	724,040	727,544	910,148	

各科目間の流用を認める